

駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）で16日、情報技術科3年生40人が今年度の学習成果を

ウェブアプリ開発や人工知能など 課題研究の成果発表

駒ヶ根工高情報技術科3年40人

学習成果を発表する駒ヶ根工業高校の3年生



披露する「課題研究発表会」があった。グループや個人のアプリケーション開発や自動

で機械を動かす制御技術、人工知能（AI）の研究などの成果を紹介した。
同科3年生は進学や就職先に沿った興味を持つテーマなどで研究を積み重ねてきた。この日は各班がプレゼンテーションや展示発表で学習の内容を紹介。保護者や教職員、同科2年生が聴いた。
3年の五十嵐亜聖さん、小山田結人さん、北澤琉海さん、後藤聖翔さんの班は、プログラミングで高校生活などのスケジュール管理に役立つ「時間割アプリ」を製作。平日の授業日程を書き込めるようにし、レポート締切日などのスケジュールを追加できるリマインダー機能も付けた。
発表会では「誰でも使いやすいように工夫した」「現在時刻や日付など便利に必要な情報も表示させた」などと説明。取材には「4人ともプログラミングやものづくりが好きで、アイデアを出しながら機能を充実させることができ

た」と話していた。
来年1月16日には機械科と電気科を合わせた全校課題研究発表会が行われ、推薦を受けた班の生徒が発表する。
（唐澤翔）

長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

12月17日（火）

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)

©長野日報社2024